

社団法人 More Than Human

マニフェスト

生命は進化を続ける

約40億年の昔、この地球に生命が誕生してから数多く種が誕生し、そしてその95%以上が絶滅してきたといわれています。全ての生物たちが必死に過酷な環境に適応し、食物連鎖という“生きたまま食べられるという恐ろしい死の苦しみ”でありエネルギーの循環であるエコシステムの中で“生命”の進化を先へ先へと推し進めてきました。人類は、地球上の生物、無生物がつくり出すその圧倒的な進化圧の先端にある、といえます。

知性と人類

進化の過程で人類は“知性”を与えられました。これにより人類は己と宇宙を客観的に捉えることができるようになり、論理的な思考が発達しました。知性は人類が言語や道具などの“テクノロジー”を生み出し使用することを可能にし、これが現代社会/文明の基盤を築きましたが、同時に客観的思考は人類に己が宇宙から、自然から、他者から切り離された孤独な存在であるという根源的な事実を突きつけました。

幼年期の終わり

“孤独”という心の空白と、知性、想像力が結びついた時、ニンゲンの果てしない欲が生まれました。本来物質では埋まることのない空白を埋めようとして、現代の物質文明は地球環境内のリソースの限られたキャパシティをこえた氾濫を起こしつつあります。個人としてのニンゲンが子供から成熟した大人へと学び、育っていくように、種としての人類もより成熟した賢い種へと進化していかなくてはなりません。今の人類は、自分が何故寂しいか、不安なのか理解することなく泣き叫び、手当たり次第に周りのものを奪っていく子供と同じです。しかしただの子供とは違い、人類のその手には地球自体を滅ぼしかねないテクノロジーが握られています。テクノロジーの進歩は指数的に加速していますが、そのテクノロジーを使いこなすには“成熟した精神”が必要となります。政治的、利己的判断や我欲をすて、成熟した精神をもって合理的にテクノロジーを使いこなしていけば、現在ニンゲンが引き起こしている、飢餓、貧困、環境汚染などのほとんど問題は解決することができます。

いま、ここにある、理想の世界

世界/文明はイマジネーションの力で創られます。例えば、飛行機やインターネットといったテクノロジーも誰かの「空を飛べたら」とか「もっと多くの人と繋がれたら」という想像から創り出されました。未来は我々の想像が具現化していくものなのです。戦争が続き、混沌と分断の世界になるか、それとも平和で多様性に満ちた未来になるのかは、今、我々がどんな世界をイメージするかにかかっています。未来はもう我々の中に、いまここにあるのです。テクノロジーは破壊をもたらすこともありますが、使い方によっては“美”を生み出すこともできます。我々がプロジェクトの一つとしてすでに制作しているアート義肢はその事実の現れの一つです。

More Than Human

More Than Human の役割は平和でアートに満ちた創造的な未来が、現在において実現している、ということのカタチにして提示することにあります。アートを核に、インダストリ、福祉、農業等、人間と機械、異なる宗教、太古と現在、異なるエレメントのバウンダリ(境界)を超越し融溶することにより、作品、精神、プロジェクトの在り方を次の次元へと押し上げます。“生命”は元々融合し組織化する性質をもっています。多細胞生物の一つの細胞の中にも元々は異なる生命だったものが、浸透しあい、共生しているのが良い例です。20世紀までの物質文明においては、分類し、分割し、競い合わせる、というのが基本的な在り方でした。その在り方さえも否定するのではなく、人類の種としての成長に必要な過程だったと肯定し包括することにより、プロジェクト/仕事の在り方、進め方自体が進化を示すようにしていきます。独占からシェアへ、争いから助け合いへと。More Than Humanはその活動を通じ、人類が進化するための触媒となり、人類の進化を加速させ、我々の子孫がこの地球上、そして宇宙において今後安心して進化の高みを目指していける基盤を創り上げていきます。